

海外で注目された気鋭の映画監督たちの作品と、幻の横浜映画を堪能する一週間！

横浜 黄金町映画祭 2008

～再上陸－海外が注目する日本の才能～

シネマ・ジャック&ベティにて、7月26日(土)～8月1日(金)開催

かつて、数多くの映画館が存在し、名画の舞台にもなった横浜・黄金町。横浜の映画文化の一時代を築いたこの街で、映画と、映画を通して横浜の魅力に触れることを目的とした映画祭を、この街に唯一残った名画座シネマ・ジャック&ベティで開催することとなりました。

記念すべき第一回目のテーマは、「再上陸－海外が注目する日本の才能」。

近年、日本映画が活況を呈する中、優れた内容を持ちながらも、劇場で公開される機会に恵まれなかった作品もまだ数多く存在しています。今回は、そんな作品群の中から、海外の映画祭に出品され、高い評価を得た作品、注目を浴びた作品を集めたメインプログラムと、横浜を舞台にした作品を特集上映することで、幅広い方々に「日本映画のもうひとつの魅力」に触れていただければと願っております。

< 開催概要 >

- * 期間: 7月26日(土)～8月1日(金)
- * 会場: シネマ・ジャック&ベティ 横浜市中区若葉町 3-51
(京急黄金町駅より徒歩5分／横浜市営地下鉄阪東橋駅より徒歩7分／JR関内駅より徒歩18分)
- * 予定プログラム: 「世界が注目する日本の才能」／幻の横浜映画
学生作品／黄金町映画／計4プログラム 約20本
- * 料金: 一般: 前売り券 1,000円／当日券 1,200円(学生・シニア各200円引)
5回券 4,500円／パスポート 8,000円(学生・シニア同額)
- * 主催: 横浜 黄金町映画祭実行委員会
- * 後援: 横浜市開港150周年・創造都市事業本部
- * 協力: 財団法人横浜市芸術文化振興財団
シネマ・ジャック&ベティ
- * 横浜市映画祭開催支援認定事業



映画祭ロゴマーク

また、期間中は、参加作品の監督、映画関係者を招いてのシンポジウムなどのほか、地元横浜映画を語るトークショー、東京藝術大学大学院映像研究科及び、日本映画学校の学生が製作した作品の上映、学校関係者らによる講演など、映画の世界を志す方々はもちろん、一般の方にも幅広くお楽しみいただけるイベントを多数予定しています。

そこで本映画祭をぜひ、貴媒体・番組にてご紹介いただきますようお願いいたします。

ご掲載いただく際には、読者向け鑑賞券プレゼントの対応もいたしますので、どうぞご相談ください。また掲載用の作品画像、ロゴマークなどもご用意しておりますので、掲載の折はお申し付けください。

< 本件に関する問い合わせ先 >

横浜 黄金町映画祭実行委員会 広報室(シネマ・ジャック&ベティ内)

TEL :090-6545-0252/渡辺 FAX :045-252-0827 E-MAIL: festa@koganecho.com

一般の方向けの問い合わせ先:045-243-9800

映画祭ホームページ: <http://www.koganecho.com/>



□ ■ プ ロ グ ラ ム 概 要 ■ □

メインプログラム【海外が注目する日本の才能】

2007年、『殞の森』で、カンヌ映画祭で審査員特別賞を獲得した河瀬直美監督の、2006年のロカルノ映画祭で審査員特別賞を受賞した『垂乳女～TARACHIME～』をはじめ、同映画祭で2007年、『愛の予感』が日本人としては37年ぶりとなる金豹賞を含む4冠を獲得した小林政広監督の『女理髪師の恋』、2005年トリノ国際映画祭で長篇部門グランプリと観客賞をダブル受賞した、坪川拓史監督の『美式天然』など国際的に活躍中の監督の作品や、2007年香港アジア国際映画祭コンペティション部門でグランプリを獲得した新鋭の市井昌秀監督の『隼』、そして2007年上海国際映画祭の新人部門にノミネートされ、異例の売り切れを出した片岡秀明監督の『クロスワード・モノローグ』など、海外で堂々たる存在感をアピールした気鋭の監督たちの作品を一挙上映。本国日本よりも、一足早く海外の映画ファンに受け入れられた彼らの才能を一望できる機会です。

関連イベントとして、出品監督たちと、国際映画祭への出品に関わる方々によるシンポジウムを計画中。華やかな映画祭の裏側や、海外における日本映画の現在を存分に語っていただく予定です。

特集上映【幻の横浜映画】

「港町」を背景に多彩な映画を生み出してきた横浜。その横浜を舞台に製作された多数の作品の中から、幻と言われる作品を厳選し、特集上映します。

時代劇のヒーロー「鞍馬天狗」をはじめ、数々の人気小説を世に送り出した横浜にゆかりの深い作家・大佛次郎が、文明開化後の横浜をエキゾチックに描いた『霧笛』(1934年)、横浜と神戸を舞台に、3人娘の恋と友情を描いた『港の日本娘』(1933年)を上映。期間中2回活弁付き上映を行う予定。

そのほか、昭和の痛快アクション作品、“エースのジョー” 宍戸錠主演の『拳銃(コルト)は俺のパスポート』(1967年)、菅原文太主演の『横浜暗黒街 マシンガンの竜』(1976年)、そして、前田陽一監督による、地元の中村川を舞台に繰り広げる『喜劇・家族同盟』(1983年)、天地真理主演の『虹をわたって』(1972年)を上映予定。関連イベントとして、横浜映画に造詣の深いゲストによるトークショーを開催する予定です。

スペシャルプログラム 1【学生作品】

2007年に馬車道に新設された東京藝術大学大学院映像研究学科、多数の映画人を輩出している日本映画学校という、未来の映画人を育成する2つの学校から、学生たちの優れた作品を上映。みずみずしい感性に溢れた完成度の高い作品をお楽しみいただく内容です。

関連イベントとして、日本映画学校校長の佐藤忠男氏など、両校の関係者による講演などを予定しています。

スペシャルプログラム 2【黄金町映画】

あのマイクが黄金町に帰ってくる！永瀬正敏主演、林海象監督で大ヒットした「私立探偵濱マイクシリーズ」の第一弾、『我が人生最悪の時』、そして、ひとりの娼婦の姿を通して、時代とともに変わりゆく横浜の姿を描いた、中村高寛監督の名ドキュメンタリー『ヨコハマメリー』を上映！

上映にあわせ、両監督、そしてこの界隈をよく知る文化人によるトークショーを開催します。